4章 地区別構想

1. 地区区分

全体構想をより住民生活に密着した構想とするための「地区別構想」を、従来の集落形成・地区構成をもとにした以下の 6 地区ごとに設定します。

「地区別構想」では、各地域の概況や特性、課題を踏まえたうえで、全体構想に基づき各地区の将来像やまちづくりの目標を定め、さらに、全体構想の実現に向けた地区における整備方針を設定します。

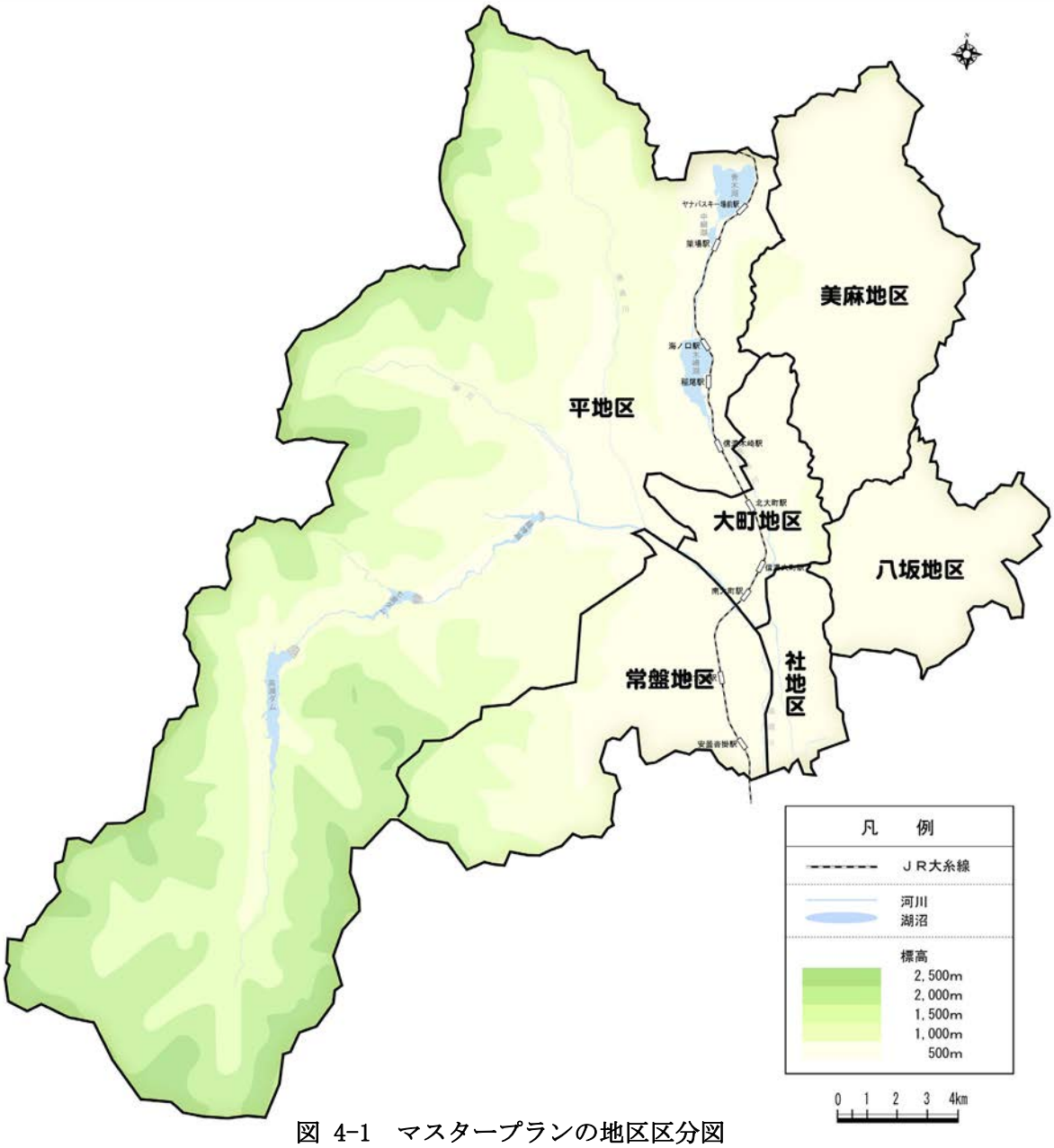


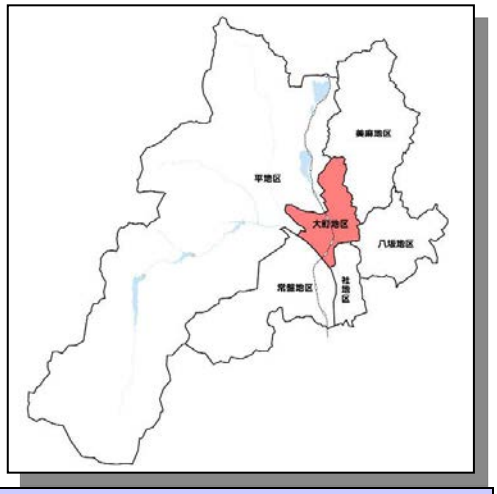
図 4-1　マスタープランの地区区分図

2. 大町地区

2.1. 大町地区の概況と主な課題

大町地区は、市の玄関口である信濃大町駅を核とした市役所、病院、警察署、消防署などの公共施設や商業施設が立地し、都市機能が集中する地域であるとともに、大町山岳博物館など歴史・文化施設が点在し、人・もの・情報が行き交う都市活動の中心となる地域です。

また、松本糸魚川連絡道路が、市が最適と考える地区の東側の通過を想定すると、今後、交流の機会が高まる地域と考えられます。



	現　況	主　な　課　題
土地利用	・少子高齢化、人口減少に伴う空き家、空き店舗、空き地の増加。 ・中心市街地における商業の活力低下。 ・北原町周辺の低未利用地の存在。	・空き家、空き店舗、空き地の対策、及び有効活用。 ・中心市街地の活性化推進。 ・動向を踏まえた低未利用地の用途地域の見直し。 ・松本糸魚川連絡道路沿線やインターチェンジ等周辺の土地利用の計画的誘導。
道路・交通	・松本糸魚川連絡道路の通過を想定。 ・公共交通の充実や安全で安心して歩ける歩道空間の確保の取り組みを実施中。 ・未整備都市計画道路の存在。	・松本糸魚川連絡道路、及びアクセス道路の整備促進。 ・公共交通サービスのさらなる充実。 ・安全で安心して歩ける歩道空間の確保と取り組みの拡充。
都市防災 公園・緑地 河川・下水道 景観形成	・住宅密集地等に狭幅員道路や空き家などが存在。 ・美しい景観づくりや街並み整備、身近な河川、水路整備等の住民ニーズが高い。	・都市防災に対する安全性、避難路確保。 ・良好な都市景観の確保・形成。 ・水辺環境の整備。 ・雨水対策などの取り組み。

2.2. 大町地区のまちづくりの目標と整備の方針

大町地区のまちづくりの目標

都市機能が集積したにぎわいとうるおいのあるまちづくり

集約型都市構造に向けた取り組み

本市の都市的土地利用の中心地域として、中心市街地の活力再生、信濃大町駅の結節機能を強化し、用途地域内の居住環境整備を図ります。また、周辺の田園エリアは居住環境劣化に配慮しつつ、できるだけ新規建物の立地を抑制する方向で、用途地域の拠点性、集約性を強化します。

人口増加に向けた取り組み

中心市街地の活力再生を図り、歩いて暮らせるまちづくりを推進することにより、定住促進に努めるとともに、都市計画道路の整備などを通じて土地の立地ポテンシャルを増進させ、市街地への住宅立地を誘導します。また、玄関口である信濃大町駅や中心市街地、中山高原、大町山岳博物館などの各拠点、及び拠点間の連携による交流人口の増加を目指します。

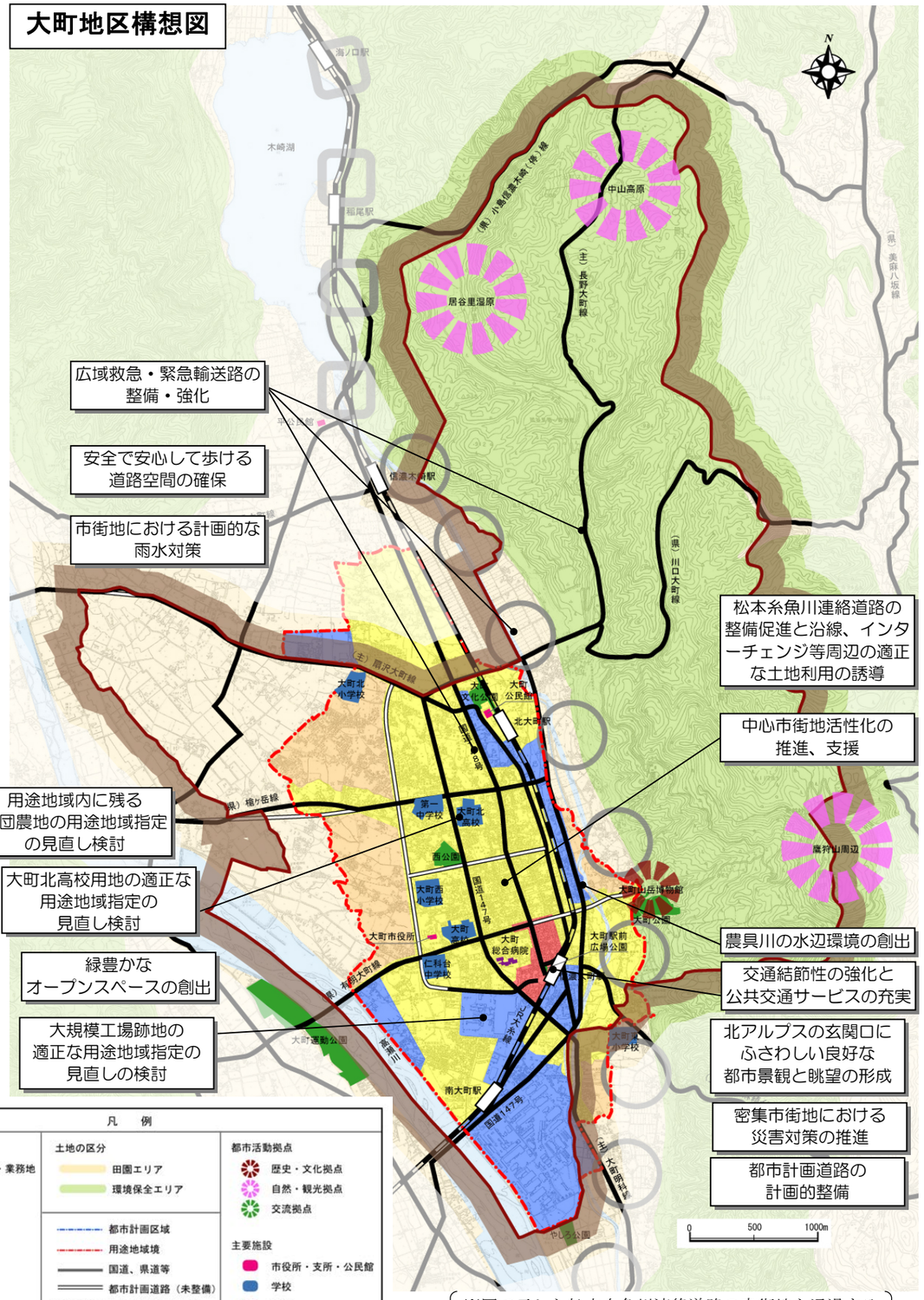
	整備方針
土地利用の方針	**■松本糸魚川連絡道路沿線、インターチェンジ等周辺の土地利用の誘導** 松本糸魚川連絡道路の計画に合わせ、周辺の土地利用を踏まえつつ、用途地域指定の変更や地区計画の策定などにより適正な土地利用を誘導します。 **■賑わいの再生に向けた中心市街地活性化の推進、支援** まちなかの空き家、空き地、空き店舗を活用した土地の有効利用に取り組むとともに、既存商店街の活性化を支援し、まちなか居住の推進を図ります。 また、まちなかの駐車場の再整備など来街者、観光客などとの交流を高める取り組みも検討します。 **■大規模工場跡地、大町北高校用地、北原町周辺の用途地域指定の見直し** 大規模工場跡地や平成 28 年に大町高校と再編統合する大町北高校用地、用途地域内における北原町周辺の集団農地などについて、今後の活用やあり方を周辺地域や関係機関と調整しつつ、用途地域指定の見直しを検討します。
道路・交通の方針	**■松本糸魚川連絡道路とアクセス道路の整備促進** 広域的な主要幹線道路である松本糸魚川連絡道路の整備促進とともに、松本糸魚川連絡道路へアクセスする道路の計画・整備を推進します。 **■信濃大町駅を核とした公共交通の結節性強化と公共交通サービスの充実** 環境負荷の小さなまちづくりとともに、高齢者や来訪者に対応したフィーダーバス系統※の充実や、パークアンドライドの促進など、信濃大町駅を核とした結節性の強化を図ります。 **■市街地などの密集地における、安全で安心して歩ける道路空間の確保** まちなかの狭幅員な生活道路の改良や、病院・学校・行政施設周辺などのゾーン 30 の導入・拡大やグリーンベルトの設置に取り組み、また、冬期間はきめ細かな除排雪により、安全で安心して歩ける道路空間を確保します。 **■都市計画道路の計画的整備** 都市計画道路は、土地利用の誘導や都市の形成において重要な役割を果たすものであり、特に、用途地域内では土地利用とも密接に関連し、その役割は大きいものです。このため、各路線の役割、緊急性や他事業・計画などとの関連性を踏まえつつ計画的な整備を行っていきます。

※フィーダーバス系統：鉄道駅や幹線的なバスに接続する、支線の役割をもって運行される路線バス。

	整備方針
都市防災（減災）の方針	**■広域救急・緊急輸送路の整備・強化** 第 1 次緊急輸送路に指定される国道 147 号、148 号、(主)長野大町線のほか、松本糸魚川連絡道路など、緊急時の輸送路として機能する路線の整備・強化を促進します。 また、これら道路沿線の建物の耐震化と、その他の幹線道路の整備、橋梁の長寿命化対策を推進します。 **■市街地における密集地の災害対策の推進** 市街地における建物等の密集地では、建物の耐震化や不燃化を促進します。 また、災害時の延焼拡大防止や避難路の確保、建物・ブロック等の倒壊による避難路遮断の対策のほか、雪害対策も含め、空き家調査の実施・把握や生活道路の改良等を推進します。 **■市街地における計画的な雨水対策** 公共下水道（雨水路）の見直し・変更により計画的な雨水対策を推進します。
公園・緑地 河川・下水道 景観形成 の方針	**■身近な公園・緑地の整備** 既存の公園・緑地の改修や、空き地などの有効利用も含めた整備により、機能の充実を図ります。 **■公共空間等における緑豊かなオープンスペースの創出** 公共施設などのオープンスペースにおいて、身近な緑の創出・保全を図るとともに、水辺環境などを加えた、うるおい空間の創出を推進します。 **■農具川の水辺環境の創出** 農具川における親しみが持てる水辺環境の創出に向けた取り組みの継続、支援を図ります。 **■北アルプスの玄関口にふさわしい良好な都市景観と眺望の形成** 北アルプスの玄関口にふさわしい良好な都市景観や、東山から望む街並みを含めた北アルプスの眺望などの景観形成を推進します。

王子神社例大祭

大町地区構想図



※図で示した松本糸魚川連絡道路の市街地を通過するルートは、本計画において大町市が考える最適なルートとして想定したものです。

3. 平地区

3.1. 平地区の概況と主な課題

平地区は、黒部ダムの玄関口となる扇沢や、仁科三湖、大町温泉郷、スキー場など多くの観光資源に恵まれ、毎年、多くの観光客が訪れている地域です。

また、中部山岳国立公園をはじめとする森林・山岳や、高瀬川、鹿島川、篭川などの河川、上白沢、矢沢水源など、豊富な自然資源を有する地域です。

しかし、鹿島川周辺の一部や木崎湖-青木湖間が都市計画区域に指定されていないことや、迂回路の乏しい木崎湖トンネル以北の国道 148 号の改良などの対応が求められています。

	現　況	主　な　課　題
土地利用	・鹿島川周辺の一部や木崎湖-青木湖間が都市計画区域に指定されていない。 ・借馬周辺における低未利用地の存在。 ・木崎湖、青木湖、日向山地区は風致地区に指定し自然環境を保全。	・都市計画区域への編入の検討 ・動向を踏まえた低未利用地の用途地域の見直し。 ・松本糸魚川連絡道路沿線、インターチェンジ等周辺の土地利用の計画的誘導。
道路・交通	・松本糸魚川連絡道路の通過を想定。 ・公共交通網の充実に向けた取り組みを実施中。 ・生活道路などに狭幅員道路が存在。	・松本糸魚川連絡道路、及びアクセス道路の整備促進。 ・公共交通サービスのさらなる充実。 ・安全で安心な道路空間の確保。
都市防災 公園・緑地 河川・下水道 景観形成	・木崎湖トンネル以北は迂回路が乏しく緊急時の対応が懸念される。 ・美しい景観づくりや街並み整備、身近な河川、水路整備等の住民ニーズが高い。	・緊急輸送路、広域救急に機能する道路の確保。 ・良好な都市景観の確保・形成。 ・水辺環境の整備。

3.2. 平地区のまちづくりの目標と整備の方針

平地区のまちづくりの目標

水と緑の豊かなうるおいのある生活・交流のまちづくり

集約型都市構造に向けた取り組み

比較的人口が集中し、地区における生活機能が集まる平公民館周辺を拠点として設定し、居住環境整備を図り、周辺の農地等が広がる田園エリアは、居住環境劣化に配慮しつつ、できるだけ新規の建物立地を抑制します。また、大町地区に接する用途地域は、地区内の住環境整備や農地の計画的土地利用を誘導することにより、市街地としての拠点性を強化します。

さらに、田園エリアの外側の環境保全エリアは、建物立地は抑制し自然環境の保全に努めます。

人口増加に向けた取り組み

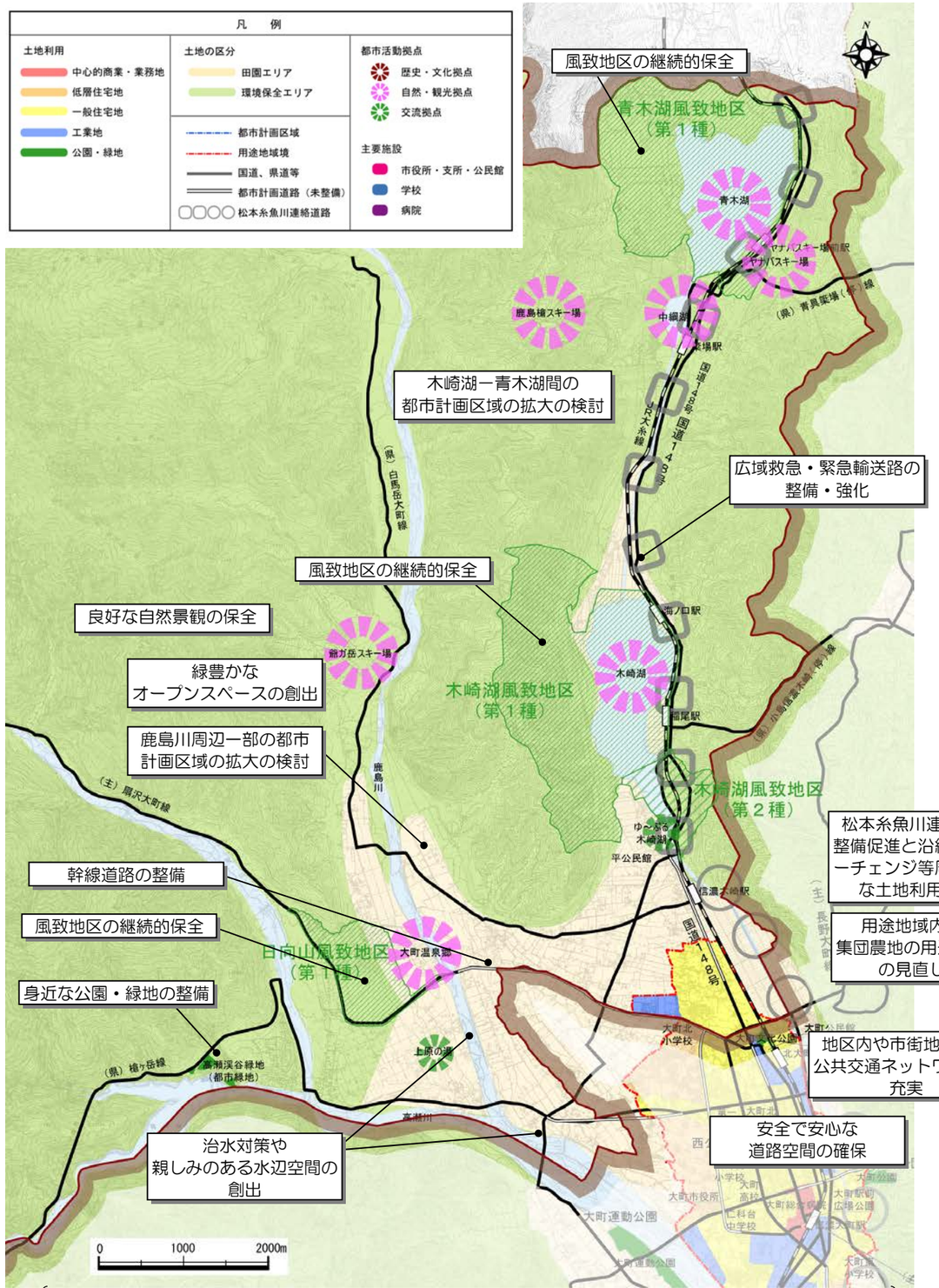
大町地区に接する用途地域や拠点の居住環境整備を通じて、新規建物の立地誘導を図ります。

また、大町温泉郷や仁科三湖など多くの観光客が訪れる拠点、及び拠点間の連携により交流人口の増加を目指します。

	整備方針
土地利用の方針	**■松本糸魚川連絡道路沿線、インターチェンジ等周辺の土地利用の誘導** 松本糸魚川連絡道路の計画に合わせ、周辺の土地利用を踏まえつつ、用途地域指定の変更や地区計画の策定などにより適正な土地利用を誘導します。 **■鹿島川周辺の一部、木崎湖-青木湖間の都市計画区域への編入に向けた検討の推進** まとまった居住地域がありながら、都市計画区域が指定されていない鹿島川周辺の一部、木崎湖-青木湖間については、一体的な都市としての整備、開発及び保全を図るため、都市計画区域への編入を検討します。 **■借馬周辺の用途地域指定の見直し** 用途地域内に集団農地が存在する借馬周辺については、今後の活用やあり方を周辺地域や関連機関と調整しつつ、用途地域指定の見直しを検討します。 **■木崎湖、青木湖などの豊かな自然環境や優良農地の保全** 森林・河川・湖沼などの良好な自然環境や優良農地の保全を図ります。 また、現在、風致地区に指定されている木崎湖、青木湖、日向山地区は継続的に自然環境を保持していきます。
道路・交通の方針	**■松本糸魚川連絡道路や幹線道路のネットワーク形成** 広域的な主要幹線道路である松本糸魚川連絡道路の整備促進と、ネットワークを形成する(主)扇沢大町線など幹線道路の改良を推進します。 **■都市との交流を図るための交通機能の強化** 信濃大町駅周辺の市街地等と結ぶ公共交通ネットワークの充実と、地域内における信濃木崎駅からのフィーダーバス系統※の充実を図ります。 **■安全で安心な道路空間の確保** 生活道路の整備を進め、災害時における避難空間としても機能する安全・安心な道路空間の確保を図ります。
都市防災（減災）の方針	**■広域救急・緊急輸送路の整備・強化** 松本糸魚川連絡道路の整備促進と、既存県道など幹線道路の整備、橋梁の長寿命化対策を推進します。
公園・緑地 河川・下水道 景観形成の方針	**■高瀬渓谷緑地など身近な公園・緑地の整備** 高瀬渓谷緑地など既存の公園・緑地の改修や、空き地などの有効利用も含めた新規整備により、機能の充実を図ります。 **■公共空間等における緑豊かなオープンスペースの創出** 公共施設などのオープンスペースにおいて、身近な緑の創出・保全を図るとともに、水辺環境などを加えた、うるおい空間の創出を推進します。 **■高瀬川、鹿島川、籠川の治水対策の推進** 高瀬川、鹿島川、籠川の治水機能向上と、親しみが持てる水辺環境の創出を図ります。 **■良好な自然景観の保全** 北アルプスを背景とする仁科三湖などの自然景観や、田園風景と調和した住宅地・集落景観の形成を図ります。

※フィーダーバス系統：鉄道駅や幹線的なバスに接続する、支線の役割をもって運行される路線バス。

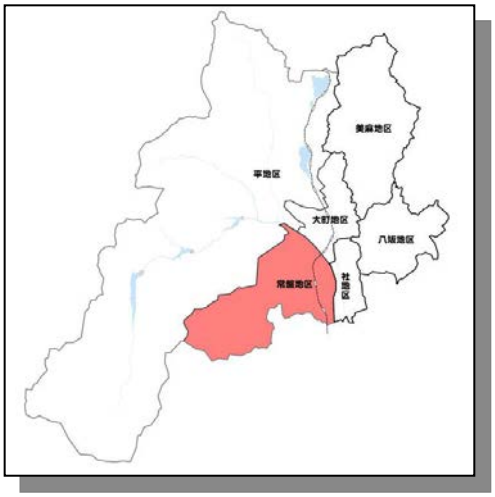
平地区構想図



※図で示した松本糸魚川連絡道路の市街地を通過するルートは、本計画において大町市が考える最適なルートとして想定したものです。

4. 常盤地区

4.1. 常盤地区の概況と主な課題



常盤地区は、地域一帯に美しい田園景観が残されており、観光交流の場となる国営アルプスあづみの公園が存在しています。

また、積雪量が少ないことや松本方面へのアクセス性、国道 147 号沿道に白地地域が広がっていることなどから、人口の減少が少ない地域です。

現在も、国道 147 号の沿道には一団の白地地域が残され、住宅立地の潜在的な要素はありますが、それら周辺には農振農用地に指定される優良農地があり、施設の乱立などには一定の抑制機能が働くものと考えられます。

	現　況	主　な　課　題
土地利用	・社地区とともに、他地区に比べ人口減少が緩やか。 ・雪が少ないなどの魅力もあり、住宅立地動向みられポテンシャルもある。 ・優良農地も多く、その多くは農用地指定されている。	・集約型都市構造構築と定住促進の両立に向けた取り組み。 ・松本糸魚川連絡道路沿線、インターチェンジ等周辺の土地利用の計画的誘導。
道路・交通	・松本糸魚川連絡道路の通過を想定。 ・公共交通網の充実に向けた取り組みを実施中。 ・生活道路などに狭幅員道路が存在。	・松本糸魚川連絡道路、及びアクセス道路整備促進。 ・公共交通サービスのさらなる充実。 ・安全で安心な道路空間の確保。
都市防災 公園・緑地 河川・下水道 景観形成	・身近な公園・緑地が比較的少ない。 ・美しい景観づくりや街並み整備、身近な河川、水路整備等の住民ニーズが高い。	・身近な公園・緑地の整備 ・良好な都市景観の確保・形成。 ・水辺環境の整備。

4.2. 常盤地区のまちづくりの目標と整備の方針

常盤地区のまちづくりの目標

田園風景と調和した集落形成をめざしたまちづくり

集約型都市構造に向けた取り組み

比較的人口が集中し、地区における生活機能が集まる信濃常盤駅周辺を拠点として設定し、居住環境整備を図ります。また、周辺の農地等が広がる田園エリアにおいても、建物立地ポテンシャルの高さを活かし、既存集落を中心に居住環境の整備を通じて拠点性、集約性を高め、新たな建物立地の誘導を図ります。

農用地指定のある優良農地については、その保全に努め、既存の農村集落は、居住環境の劣化に配慮しつつ低密度化を図ります。

人口増加に向けた取り組み

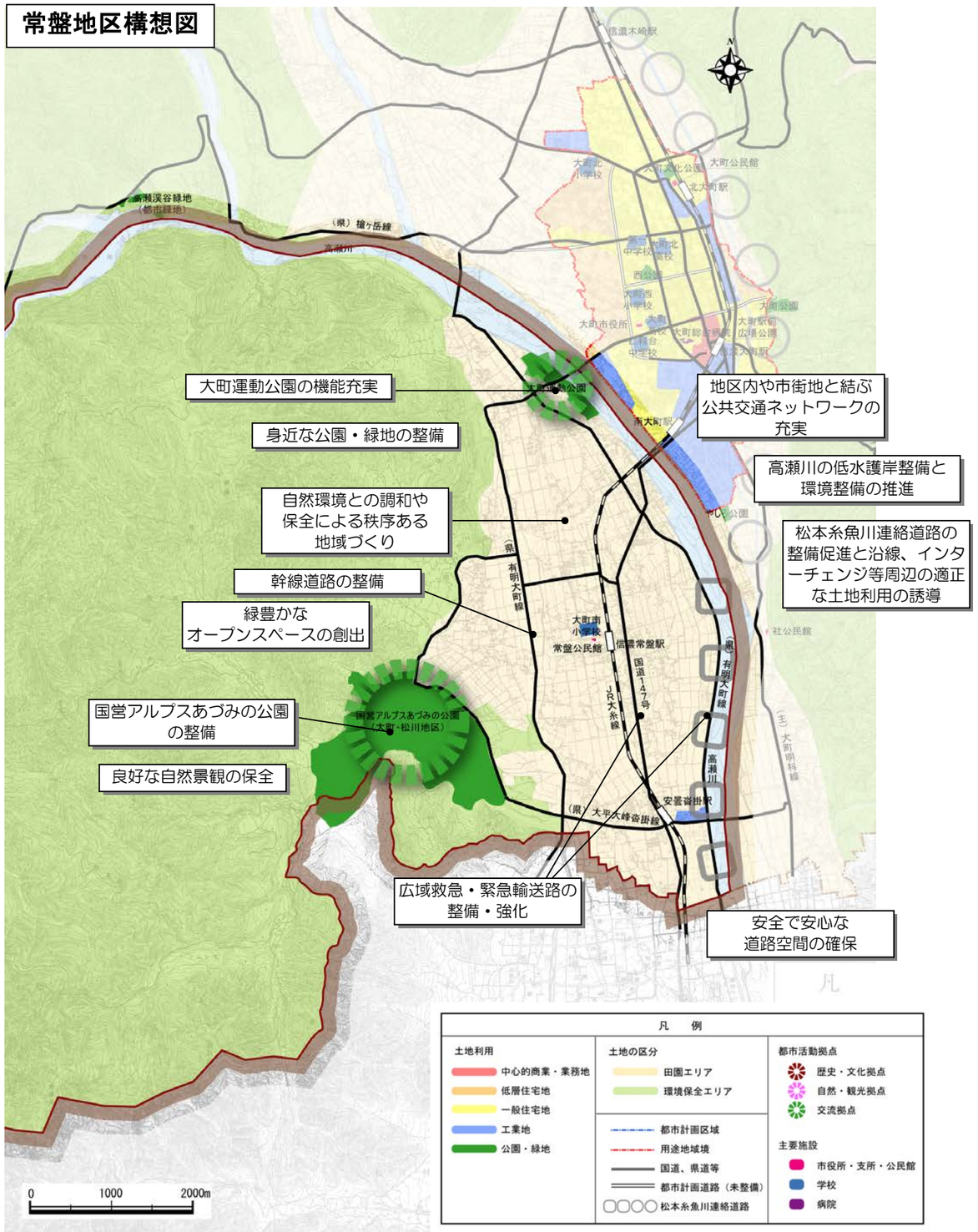
設定した拠点内の居住環境整備を通じて、新規建物の立地誘導を図ります。

また、多くの観光客が訪れる国営アルプスあづみの公園を活用し交流人口の増加を目指します。

	整備方針
土地利用の方針	**■松本糸魚川連絡道路沿線、インターチェンジ等周辺の土地利用の誘導** 松本糸魚川連絡道路の計画に合わせ、地区計画の策定などにより適正な土地利用を誘導します。 **■自然環境との調和や保全による秩序ある地域づくり** 良好な居住環境整備による人口増加や定住促進に向け、一定の住宅立地は許容しつつ、自然環境との調和や保全による、秩序ある地域づくりを推進します。
道路・交通の方針	**■松本糸魚川連絡道路や幹線道路のネットワーク形成** 広域的な主要幹線道路である松本糸魚川連絡道路の整備促進と、ネットワークを形成する(国)147 号など幹線道路の改良を推進します。 **■都市との交流を図るための交通機能の強化** 信濃大町駅周辺の市街地等と結ぶ公共交通ネットワークの充実と、地域内における信濃常盤駅からのフィーダーバス系統※の充実を図ります。 **■安全で安心な道路空間の確保** 生活道路の整備を進め、災害時における避難空間としても機能する安全・安心な道路空間の確保を図ります。
都市防災（減災）の方針	**■広域救急・緊急輸送路の整備・強化** 第1次緊急輸送路に指定される国道147号や松本糸魚川連絡道路など緊急時の輸送路として機能する路線の整備・強化を推進します。 また、これら道路沿道の建物耐震化と、その他の幹線道路の整備、橋梁の長寿命化対策を推進します。
公園・緑地 河川・下水道 景観形成の方針	**■国営アルプスあづみの公園や大町運動公園の機能充実と身近な公園・緑地の整備** 国営アルプスあづみの公園や大町運動公園の機能充実を図るとともに、既存の公園・緑地の改修や、空き地などの有効利用も含めた新規整備により機能の充実を図ります。 **■公共空間等における緑豊かなオープンスペースの創出** 公共施設などのオープンスペースにおいて、身近な緑の創出・保全を図るとともに、水辺環境などを加えた、うるおい空間の創出を推進します。 **■高瀬川の低水護岸整備と環境整備の推進** 高瀬川の低水護岸整備、環境整備を推進し、親しみが持てる水辺環境の創出を図ります。 **■良好な自然景観の保全** 北アルプスなどの自然景観や田園風景と調和した住宅地・集落景観の形成を図ります。

※フィーダーバス系統：鉄道駅や幹線的なバスに接続する、支線の役割をもって運行される路線バス。

常盤地区構想図



※図で示した松本糸魚川連絡道路の市街地を通過するルートは、本計画において大町市が考える最適なルートとして想定したものです。

5. 社地区

5.1. 社地区の概況と主な課題

社地区は、西側に高瀬川が流れ、東側は丘陵の森林となっていることから、地形的制約が大きい地域であるといえます。しかし、地区内を南北に走る(主)大町明科線の西側には優良農地が広がり、東側には古くからの農村風景と、隣接する丘陵には国宝仁科神明宮が存在し、先人たちが創り上げた古き良き原風景が残された地域です。

また、積雪量が少ないことや松本方面へのアクセス性、北アルプスの美しい眺望景観を有することなどから、人口の減少が少ない地域です。

	現　況	主　な　課　題
土地利用	・常盤地区とともに、他地区に比べ人口減少が緩やか。 ・古き良き原風景を求め比較的、移住需要のポテンシャルもある。 ・松崎周辺における低未利用地の存在。	・集約型都市構造構築と定住促進の両立に向けた取り組み。 ・松本糸魚川連絡道路沿線、インターチェンジ等周辺の土地利用の計画的誘導。 ・動向を踏まえた低未利用地の用途地域の見直し。
道路・交通	・松本糸魚川連絡道路の通過が想定。 ・公共交通網の充実に向けた取り組みを実施中。 ・河岸段丘もあり、生活道路などに狭幅員道路が存在。	・松本糸魚川連絡道路、及びアクセス道路の整備促進。 ・公共交通サービスのさらなる充実。 ・安全で安心な道路空間の確保。
都市防災 公園・緑地 河川・下水道 景観形成	・身近な公園・緑地が比較的少ない。 ・美しい景観づくりや街並み整備、身近な河川、水路整備等の住民ニーズが高い。	・身近な公園・緑地の整備 ・良好な都市景観の確保・形成。 ・水辺環境の整備。

5.2. 社地区のまちづくりの目標と整備の方針

社地区のまちづくりの目標

古き良き原風景を後世に継承する、自然環境と既存集落の調和したまちづくり

集約型都市構造に向けた取り組み

地区における生活機能が集まる社公民館周辺を拠点として設定し、居住環境整備を図ります。さらに、周辺の農地等が広がる田園エリアにおいても、建物立地ポテンシャルの高さを活かし、既存集落を中心に居住環境の整備を通じて拠点性、集約性を高め、新たな建物立地の誘導を図ります。また、地区北部の大町地区に接する用途地域は、地区内の住環境整備や農地の計画的土地利用を誘導することにより、市街地としての拠点性を強化します。

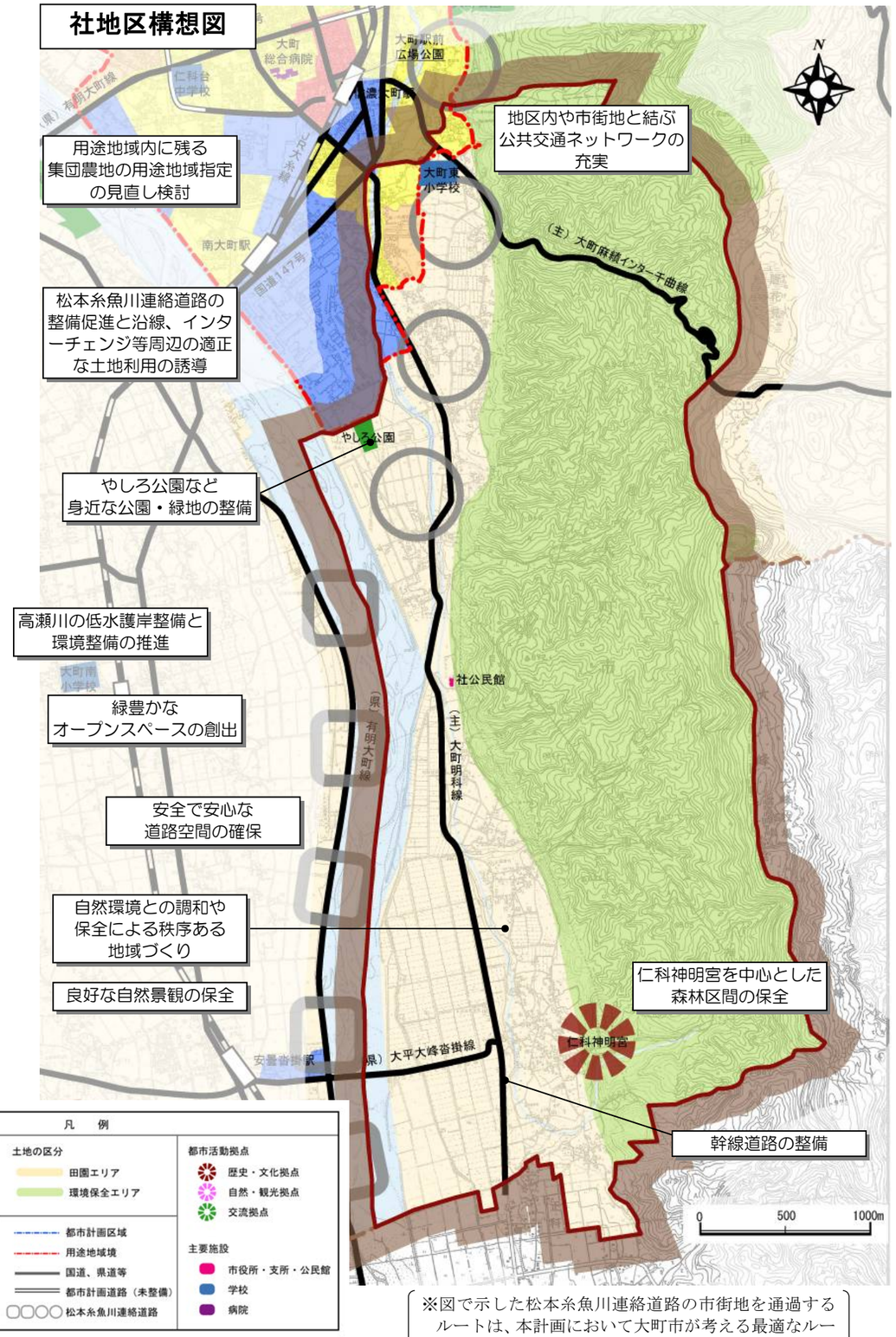
人口増加に向けた取り組み

地区北部の用途地域､設定した拠点の居住環境整備を通じて､新規建物の立地誘導を図ります。

また、多くの観光客が訪れる国宝仁科神明宮を活用した交流人口の増加を目指します。

	整備方針
土地利用の方針	**■松本糸魚川連絡道路沿線、インターチェンジ等周辺の土地利用の誘導** 松本糸魚川連絡道路の計画に合わせ、地区計画の策定などにより適正な土地利用を誘導します。 **■松崎周辺の用途地域指定の見直し** 用途地域内に集団農地が存在する松崎周辺については、今後の活用やあり方を周辺地域や関連機関と調整しつつ用途地域指定の見直しを検討します。 **■自然環境との調和や保全による秩序ある地域づくり** 良好な居住環境整備による人口増加や定住促進に向け一定の住宅立地は許容しつつ、自然環境との調和や保全による、秩序ある地域づくりを推進します。
道路・交通の方針	**■松本糸魚川連絡道路や幹線道路のネットワーク形成** 広域的な主要幹線道路である松本糸魚川連絡道路の整備促進と、ネットワークを形成する(主)大町明科線等の幹線道路の改良を推進します。 **■都市との交流を図るための交通機能の強化** 地域内及び信濃大町駅周辺の市街地等と結ぶ公共交通ネットワークの充実を図ります。 **■安全で安心な道路空間の確保** 生活道路の整備を進め、災害時における避難空間としても機能する安全・安心な道路空間の確保を図ります。
都市防災（減災）の方針	**■広域救急・緊急輸送路の整備・強化** 緊急時の輸送路として機能する松本糸魚川連絡道路の整備を推進します。 また、その他の幹線道路の整備、橋梁の長寿命化対策を推進します。
公園・緑地 河川・下水道 景観形成の方針	**■仁科神明宮を中心とした森林空間の保全** 歴史･文化拠点である仁科神明宮とその周辺の森林を森林空間として一体的に捉え保全を図ります。 **■やしろ公園など身近な公園・緑地の整備** やしろ公園など既存の公園・緑地の改修や、空き地などの有効利用も含めた新規整備により機能の充実を図ります。 **■公共空間等における緑豊かなオープンスペースの創出** 公共施設などのオープンスペースにおいて、身近な緑の創出・保全を図るとともに、水辺環境などを加えた、うるおい空間の創出を推進します。 **■高瀬川の低水護岸整備と環境整備の推進** 高瀬川の低水護岸整備、環境整備を推進し、親しみが持てる水辺環境の創出を図ります。 **■良好な自然景観の保全** 北アルプスなどの自然景観や田園風景と調和した住宅地･集落景観の形成を図ります。

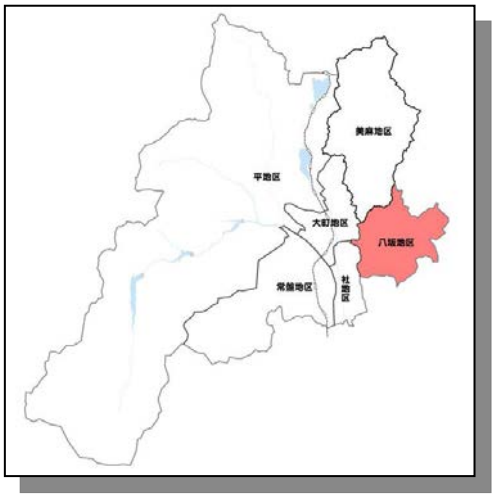
社地区構想図



※図で示した松本糸魚川連絡道路の市街地を通過するルートは、本計画において大町市が考える最適なルートとして想定したものです。

6. 八坂地区

6.1. 八坂地区の概況と主な課題



八坂地区は、大町市街地から犀川までの起伏に富む地形の中、支所周辺や犀川沿いに集落が点在しつつ、それぞれにまとまりを持った集落が形成された、豊かな自然と農山村風景が広がる地域であり、山村留学発祥の地でもあります。

北アルプスの雄大な山々が一望できる鷹狩山や唐花見湿原、国の重要文化財に指定されている千手観音像がある藤尾覚音寺など観光資源に恵まれており、また、近年では、犀川での修学旅行生を中心としたラフティングなどの体験型観光も盛んになってきています。

	現　況	主　な　課　題
土地利用	・都市計画区域に含まれていない。 ・少子高齢化、人口減少に伴う、空き家、空き地、及び荒廃農地の増加。	・都市計画区域への編入の検討。 ・空き家、空き地、荒廃農地対策、及び有効活用。
道路・交通	・(県)美麻八坂線など幹線道路や生活道路にも狭幅員区間が存在。 ・公共交通網の充実に向けた取り組みを実施中。	・幹線道路網の改良整備。 ・安全で安心な道路空間の確保。 ・公共交通サービスのさらなる充実。
都市防災 公園・緑地 河川・下水道 景観形成	・迂回路が少なく、緊急時などの対応が懸念される。 ・美しい景観づくりなどの住民ニーズが高い。	・緊急輸送路、広域救急に機能する道路の整備・強化。 ・良好な自然景観・田園景観の保全。

6.2. 八坂地区のまちづくりの目標と整備の方針

八坂地区のまちづくりの目標

豊かな自然、歴史・文化が人と共生するまちづくり

集約型都市構造に向けた取り組み

支所、小学校が集積する地域周辺を地区の拠点として設定し、拠点、既存集落の居住環境整備を図り、その周辺地区は、居住環境の劣化に配慮しつつ、新築建物については、できるだけまとまりを持った既存集落に誘導していきます。また、環境保全エリアでは建物立地を抑制し、自然環境の保全に努めます。

人口増加に向けた取り組み

設定した拠点の居住環境整備を通じて、新規建物の立地誘導を図ります。

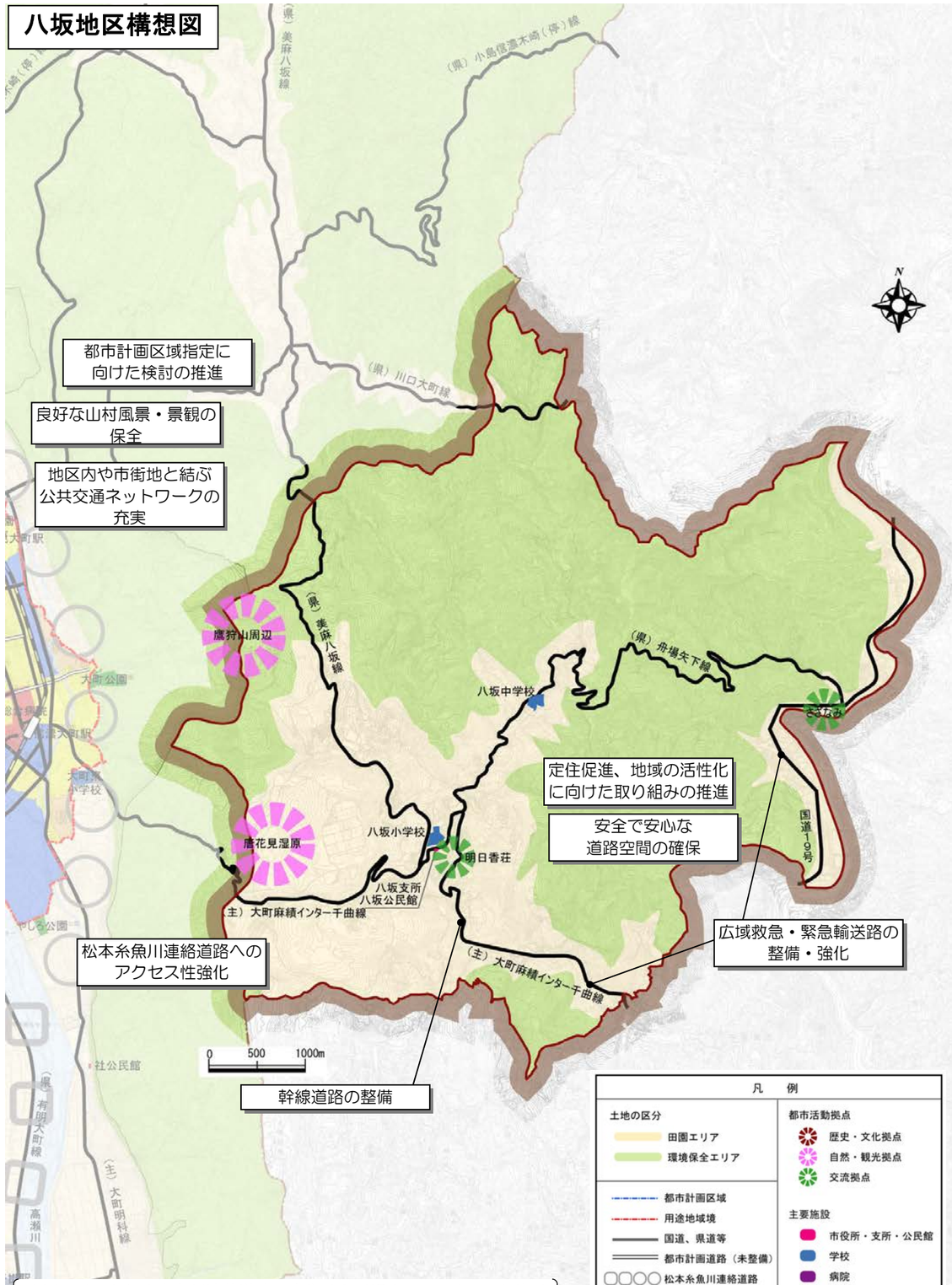
また、空き家となった農家を都会からの移住者に提供するなどの定住促進や、山村留学等による交流人口を含めた人口増加を目指します。

	整備方針
土地利用の方針	**■八坂地区の都市計画区域指定に向けた検討の推進** 八坂地区は都市計画区域に指定されていないことから、一体的な都市としての整備、開発及び保全を図るため、都市計画区域への編入を検討します。 **■定住促進、地域の活性化に向けた取り組みの推進** にぎわいのある地域の活性化に向け、定住促進住宅の整備や、空き家バンク事業による定住者の確保を推進します。
道路・交通の方針	**■(主)大町麻績インター千曲線など幹線道路のネットワーク形成** 国道 19 号、(主)大町麻績インター千曲線、(県)美麻八坂線など幹線道路の改良を推進します。 **■都市との交流を図るための交通機能の強化** 地域内及び信濃大町駅周辺の市街地等との公共交通ネットワークの充実を図ります。 **■安全で安心な道路空間の確保** 生活道路の整備を進め、災害時における避難空間としても機能する安全・安心な道路空間の確保を図ります。
都市防災（減災）の方針	**■国道 19 号、(主)大町麻績インター千曲線など広域救急・緊急輸送路の整備・強化** 第 1 次緊急輸送路の国道 19 号、第 2 次緊急輸送路の(主)大町麻績インター千曲線、(県)美麻八坂線の強化のほか、松本糸魚川連絡道路へのアクセス性の向上を促進します。
公園・緑地河川・下水道景観形成の方針	**■良好な山村風景・景観の保全** 自然景観や山村風景が調和した、住宅地・集落景観の形成を図ります。

唐花見湿原

犀川のラフティング

八坂地区構想図



※図で示した松本糸魚川連絡道路の市街地を通過するルートは、本計画において大町市が考える最適なルートとして想定したものです。

7. 美麻地区

7.1. 美麻地区の概況と主な課題

美麻地区は、山に囲まれ、全体的に急峻で複雑な地形ですが、南北に広がる山あいに集落が点在しつつ、それぞれにまとまりを持った集落が形成されています。

地域には、新行高原、重要文化財の旧中村家住宅、麻の館など、自然、歴史・文化が共生し、毎年秋に開催される新行そば祭りには県内外から多くの観光客が訪れ、県内でも有数のそば処として知られているなど、豊かな自然と里山の景観を有する地域です。

	現　況	主　な　課　題
土地利用	・都市計画区域に含まれていない。 ・少子高齢化、人口減少に伴う、空き家、空き地、及び荒廃農地の増加。	・都市計画区域への編入の検討。 ・空き家、空き地、荒廃農地対策、及び有効活用。
道路・交通	・（主）長野大町線など幹線道路や生活道路にも狭幅員区間が存在。 ・公共交通網の充実に向けた取り組みを実施中。	・幹線道路網の改良整備。 ・安全で安心な道路空間の確保。 ・公共交通サービスのさらなる充実。
都市防災 公園・緑地 河川・下水道 景観形成	・迂回路が少なく、緊急時などの対応が懸念される。 ・美しい景観づくりなどの住民ニーズが高い。	・緊急輸送路、広域救急に機能する道路の整備・強化。 ・良好な自然景観・田園景観の保全。

7.2. 美麻地区のまちづくりの目標と整備の方針

美麻地区のまちづくりの目標

自然に囲まれた、いやしと安らぎのあるまちづくり

集約型都市構造に向けた取り組み

支所、小中学校が集積する地域周辺を地区の拠点として設定しつつ、拠点から離れている、まとまりを持った既存居住集落地域も大切に維持し、居住環境整備を図ります。その周辺地区は、居住環境の劣化に配慮しつつ、新築建物については、できるだけまとまりを持った既存集落に誘導していきます。また、環境保全エリアでは建物立地を抑制し、自然環境の保全に努めます。

人口増加に向けた取り組み

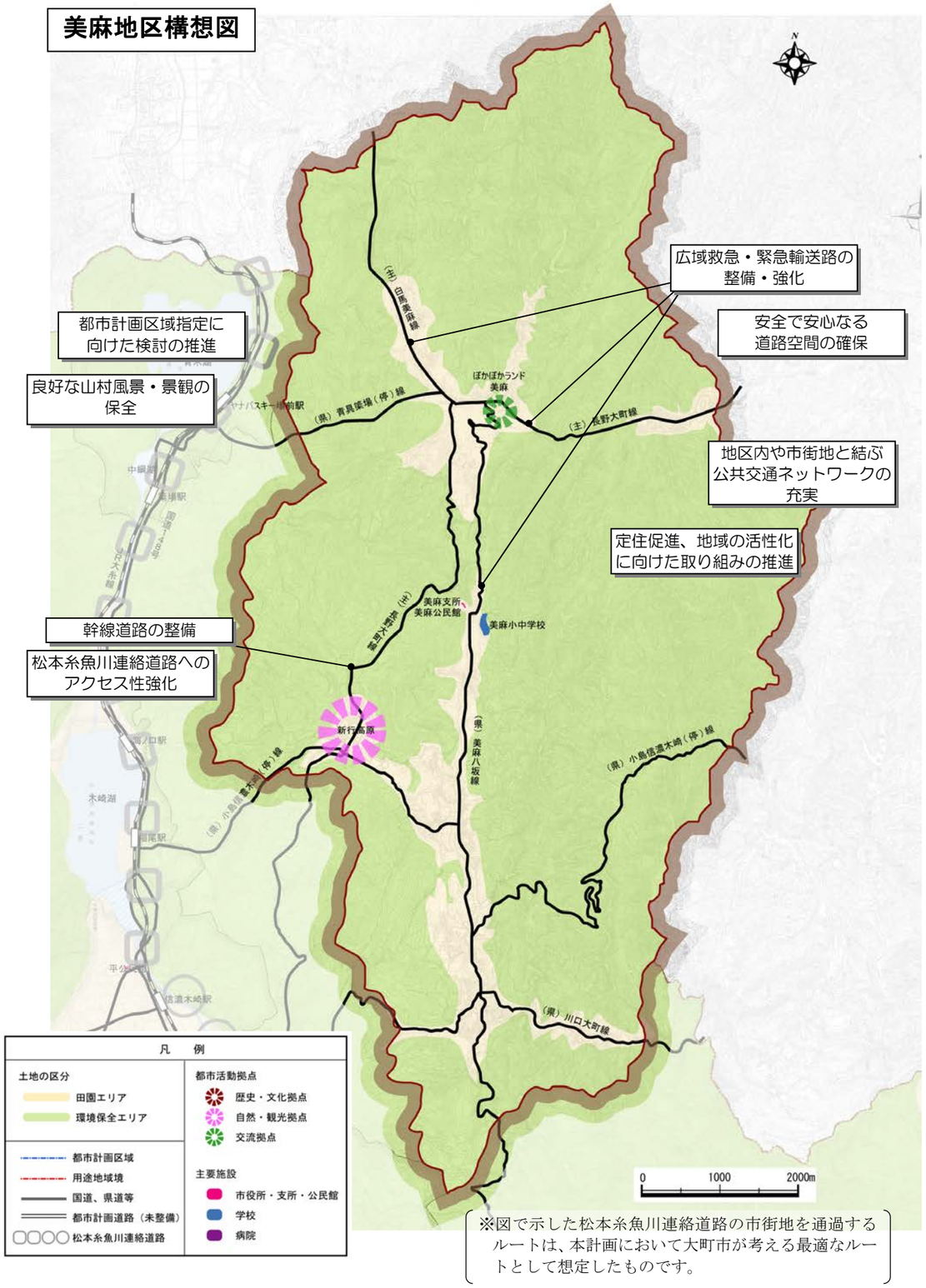
設定した拠点、既存居住集落地域の居住環境整備を通じて、新規建物の立地誘導を図ります。

また、空き家となった農家を都会からの移住者に提供するなどの定住促進や、滞在型クラインガルデン、山村留学等による交流人口を含めた人口増加を目指します。

	整備方針
土地利用の方針	**■美麻地区の都市計画区域指定に向けた検討の推進** 美麻地区は都市計画区域に指定されていないことから、一体的な都市としての整備、開発及び保全を図るため、都市計画区域への編入を検討します。 **■定住促進、地域の活性化に向けた取り組みの推進** にぎわいのある地域の活性化に向け、定住促進住宅の整備や、空き家バンク事業による定住者の確保を推進します。
道路・交通の方針	**■(主)長野大町線など幹線道路のネットワーク形成** (主)長野大町線などの幹線道路の改良を推進します。 **■都市との交流を図るための交通機能の強化** 地域内及び信濃大町駅周辺の市街地等との公共交通ネットワークの充実を図ります。 **■安全で安心な道路空間の確保** 生活道路の整備を進め、災害時における避難空間としても機能する安全・安心な道路空間の確保を図ります。
都市防災（減災）の方針	**■(主)長野大町線など広域救急・緊急輸送路の整備・強化** 第１次緊急輸送路である(主)長野大町線や、第２次緊急輸送路の(県)美麻八坂線の強化のほか、松本糸魚川連絡道路へのアクセス性の向上を促進します。
公園・緑地 河川・下水道 景観形成の方針	**■良好な里山風景・景観の保全** 自然景観や山村風景、里山風景が調和した、住宅地・集落景観の形成を図ります。

美麻の風景

美麻地区構想図



※図で示した松本糸魚川連絡道路の市街地を通過するルートは、本計画において大町市が考える最適なルートとして想定したものです。